

道路百科

～第1回～ 道路は何のために作るの？

A) 道路は、活力ある地域社会の形成、産業の振興を図るうえで最も基本となる社会基盤です。

本県は、首都圏の一都三県^{※1}に匹敵する広大な面積を有し、沿岸地域と内陸地域の間には北上高地が縦走していることから、地域間交流の妨げになっています。

このことから、本県では「広さ」と「険しい峠」を克服し、地域産業の振興と県民の命と生活を守る^{※2}ため

1. 物流拠点である港湾と内陸部とのアクセスの向上を図る道路整備
2. 地震や津波などの災害時に緊急物資などを輸送する経路を確保する道路整備

を重点的に進めています。

※1: 東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県を指します。

※2: 今後30年間の宮城県沖地震の発生確率は99%と公表されています。

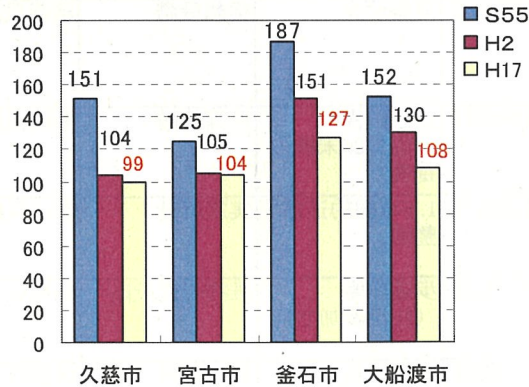


☆トピック☆ ～道路整備で何が変わるの？～

□所要時間が短縮

沿岸部の各都市から盛岡市への所要時間が短縮されました。

単位: 分



□農産物の出荷先が拡大

東北縦貫自動車道の整備により、旧西根町のホウレンソウ出荷量は約40倍に増加しました。



他にも、道路整備による効果として、次のようなものが挙げられます。

- ・道路幅、勾配、カーブなどの改良 ⇒ 安全性の確保
- ・港湾と内陸部とのアクセス性の向上 ⇒ 物流の効率化
- ・観光地への " ⇒ 観光客の増加
- ・救急医療施設への " ⇒ 救命率の向上
- ・渋滞の解消 ⇒ CO₂や有害物質の排出量削減 など

☆次回予告

今回は、「道路はどうやってできるの？」と題し、道路ができるまでの流れを分かりやすく紹介します。

